

えがお大東っ子 第22号

大東市のホームページでも「えがお大東っ子」をご覧ください。

<http://www.city.daito.lg.jp/kakukakaranoosirase/gakoukyoiku/kyouikukenkkyu/egaodaitoukko/>

第3回 大東市教育研究フォーラム



平成26年8月22日（金）大東市立総合文化センター大ホールにて、第3回大東市教育研究フォーラムを実施いたしました。

教職員はもちろん、保護者の皆様、地域の皆様にも多数お越しいただきありがとうございました。約560名の参加がありました。

亀岡 治義教育長の趣旨説明、東坂 浩一市長のご挨拶の後、前大阪教育大学監事 野口 克海先生より「教育は熱と涙やで！」と題して、記念講演をしていただきました。演題にありまます通り心が温かくなり、子どもたちのために明日からまたがんばろうと思えるすばらしいご講演でした。



その後、大東市教育委員会より本年度スタートの「大東市教育ビジョン後期基本計画」についての説明報告と、大東市立深野中学校より「学校組織としての学力向上の取組み」について実践報告を行いました。

参加者の感想より

野口先生の実践を交えたお話がとても良かったです。「子どものため」を第一に考え、愛情にあふれた教育の話が心に響きました。また大東市の実態（説明発表、実践発表）も知ることができ、今後の教育に活かしていこうと思います。

記念講演、本当に心に響くお話でした。今回のお話を聞くことができ、本当に良かったと思います。母として、教師として勉強になりました。ありがとうございました。私は中学生と関わる機会が多いので、「同行二人」を心に留め、2学期もがんばっていこうと思います。これからもしっかり勉強し、生徒に寄り添える教師になれるよう努力していきたいです。

初めて参加させていただきました。野口克海先生の講演は、保護者の私にもすごくわかりやすく子育てに役立つお話をたくさん聞けたので、今日から実践していこうと思いました。ありがとうございました。

「困った子」ではなく「困っている子」として

人は、周りの人より得意なことや苦手なことがあります。「発達障がいがある」と言われる子どもさんは、苦手なことやうまくいかないことがめだってしまうために、学校や園でも、家庭でも生活のしにくさを感じています。周りの大人や仲間から「困った子」だなぁと思われがちですが、実は一番「困っている」のは周りの大人や仲間ではなく、困っている本人なのです。困っているけどそれをうまく言葉で伝えられない・・・、困っているけどそれをなかなか認識できない・・・、だからうまく行動できなかつたりします。

支援があることで、困っている子の力をうまく引き出し伸ばすことができます。では、その支援をどういう形でしていくか・・・、その子にとって一番適切な支援は何か・・・をいつも考えることが大切になります。

大東市の公立幼、小、中学校園では、一人ひとりの教育的ニーズに応じた個別の支援を行っています。また、教育のユニバーサルデザイン（※1）の考え方に基づいて、障がいのあるなしに関わらず、どの子にとっても有効な「支援教育」の推進に力を入れています。教室環境づくり・授業づくり・集団づくりと様々な観点がありますが、これからも「全ての子どもたちを対象とした、一人ひとりを大切にす教育」を推進していきます。

※1 教育のユニバーサルデザイン ⇒ 障がいのある子どものために考えられたことが、全ての子どもにとって役立つ。障がいのある子どもにとってはもちろん、クラスのどの子どもにもより理解しやすくなる支援内容。全ての子どもたちが安心して過ごすことのできる居心地の良い学校・学級を築く考え方。



第9回大東市小中学生弁論大会のご案内

日時：平成26年11月11日(火)午後2時 開会

場所：サーティホール(大ホール)

内容：テーマ「心をことばに～伝えたい気持ち～」



小学校6年生・中学生10名による弁論

小学校5年生12名による1分間スピーチ

小学校6年生1,188名、中学生2,593名の中から選ばれた10名の「弁論」と、小学校5年生12名による「1分間スピーチ“わたしの学校紹介”」の発表です。

家庭、地域、学校での「人との出会い」の中で、また「社会の出来事」の中で、小・中学生が心に感じた素直な気持ちを言葉にして伝えます。

さわやかな、そして心揺さぶる小・中学生の熱弁にご期待ください。

第40回大東市民マラソン大会

今年で40回目を数える大東市民マラソン大会は、深北緑地球技広場をスタート・ゴールとし、園内の周回路を走ります。

小学生の方には2.2kmの部が、一般・高校生の方には10km・5kmの部、満50歳以上・中学生の方には3kmの部があります。また、家族と一緒に走るファミリーの部(2.2km)は、人気の高い種目です。

秋の紅葉の季節を楽しみながら、駆け抜ける喜びを感じてみませんか。皆さんの参加をお待ちしています。

日 時：平成26年11月16日(日) 小雨決行

午前9時30分から開会式

雨天予備日：12月7日(日)

場 所：深北緑地球技広場

申込期間：10月1日(水)～17日(金)

参加料：300円(傷害保険料込み)

【問い合わせ先】大東市教育委員会スポーツ振興課

TEL 072-870-9106



大阪「こころの再生」府民運動

11月は「こころの再生」府民運動推進月間です！

～まずは、あいさつから実践しましょう～

「こころの再生」府民運動は、大人も子どもも時代や社会がどのように変化しても決して忘れてはならない「思いやる」「感謝する」などの大切な『こころ』を見つめ直し、府民一人ひとりが身近な取組みから実践する運動です。

大切なこころを見つめ直し、まずは、あいさつから実践しましょう！

あい言葉は、「愛さつ OSAKA」

- (O) おはよう
- (S) さよなら
- (A) ありがとう
- (K) こころの
- (A) 握手



今年度も、推進月間の11月1～3日に万博記念公園において、「こころの再生」フェスティバル2014を開催します。ブース出展も行いますので、みなさん、お誘いあわせのうえ、ご参加ください。

【問い合わせ先】大阪府教育委員会事務局教育総務企画課 TEL06-6944-8042

<http://kokoro-saisei.jp/>

お互いの信頼関係が全員の意欲を引き出します！ 大東市エンパワメント研修事業

「エンパワメント」とは、その人の本来持っている力を引き出すことです。大東市では、市内の教職員対象に研修会を開くとともに、3つの学校を「モデル校」として、すべての子どもたちが自分の力を存分に発揮できるような、『信頼ベースの学級づくり』を進めています。ちよんせいこ先生にご指導をいただきながら、市内のすべての子どものエンパワメントをめざします。今回はモデル校の取組みを例に、具体的な内容の一部をご紹介します。



ホワイトボードで国語ゲーム

大きなホワイトボードを真ん中に置いて、全員が順番に自分の考えを書いていきます。ゲームの内容は「しりとり」から始まって、次第に難易度の高い内容になっていきます。分からなくても、まわりの子がやさしくヒントを出してくれます。こんなやりとりを通して子ども同士がつながります。グループを変えつつ繰り返すことによってやがてクラスの全員がつながっていきます。



四条北小学校

ペアになってインタビューの練習

語らいを充実し、お互いの話を聴き合うことで信頼を育みます。練習を積むうちに、低学年でも相手の話を聞きながらメモを取り、文章にまとめていく作業ができるようになります。ひとつのテーマでお互いの意見を出し合ってから、最後には全員が自分の思いを発表します。それぞれ別々に取り組むとちょっと難しい内容でも、楽しく全員が頑張れます。



泉小学校

「会社活動」で本領発揮！

「自分にできるクラスのためのための仕事」を考えて会社をつくります。もともと仲良しのグループではなく、同じことをやりたい子ども同士でグループになって、休み時間などに自主的に取り組みます。教室をきれいに飾ったり、授業に必要な道具を作ったり、自分たちの学びの場を自分たちでプロデュースしていきます。やりたいことで役に立つことがうれしくて、みんなとても積極的に取り組んでいます。



四条小学校

自分のことを認めてくれる仲間と一緒になら、頑張る気持ちがあふれてきます。子どもたちが信頼ベースでつながれば、その一人ひとりが自分の力を十分発揮することができます。そんな学校づくりにこれからも地道に取り組んでいきます。